

科目名			医学概論実習		
科目責任者			藤野 昭宏 (医学概論 教授)		
開講時期:	2年次	単位数:	4 単位	時間数:	90分× 60 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業衛生学の基礎となる労働衛生の歴史的展開と現在の産業保健システムにおける倫理的諸問題の分析及び具体的な解決アプローチ法について、医学概論(生命倫理学・医療人類学)の基礎理論とその科学的応用に関する実習を通して学ぶことによって理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 産業衛生学の起源と近代までの展開について系統的に考察することができる。 2) 産業衛生学の現代における発展と課題について系統的に考察することができる。 3) 産業保健システムにおける倫理的諸問題を系統的に考察することができる。 4) 産業保健システムにおける倫理的諸問題を系統的に分析することができる。 5) 産業保健システムにおける倫理的テーマを疫学的・統計学的に調査することができる。 6) 医学概論(生命倫理学・医療人類学)の基礎理論の応用を系統的に考察することができる。 7) 医療資源の配分の生命倫理的な考え方を産業保健システムに応用することができる。 8) 医療人類学の考え方・調査方法を産業保健システムに応用することができる。 9) 国際的な産業保健倫理ガイドラインの特徴について系統的に考察することができる。 10) 国内外の産業医学研究に関する倫理指針の特徴について系統的に考察することができる。 11) 産業医学研究の倫理審査委員会における審査ポイントを系統的に考察することができる。 12) 企業等のフィールド調査研究の倫理的要点について系統的に考察することができる。 13) 日本の産業保健政策・制度について系統的に考察することができる。 14) 産業保健政策・制度の国際比較について系統的に考察することができる。 15) 企業の社会的責任としての産業保健倫理について系統的に考察することができる。 					
● 評価方法	実習に関する討論40%、プレゼンテーション内容40%、課題レポート20%で総合評価する。				
● 参考文献	実習の中で必要に応じ紹介する。				

● 授業内容

内容	担当教員
選択したテーマに関して、研究手法や研究倫理などの指導を行うとともに、得られた結果の解釈の仕方、まとめ方についての実践的な指導を行う。	藤野
生命倫理学及び医療人類学と関連する産業衛生学領域を中心に、基礎的な調査方法及び統計解析法に関する研究指導を行う。	藤野
学会発表を通して、発表のまとめ方を含め、より高度のプレゼンテーション能力を身につける。	藤野